

1-2 浦河沖の地震活動（1961年1月～1992年4月）

Seismic Activity off Urakawa (January, 1961 – April, 1992)

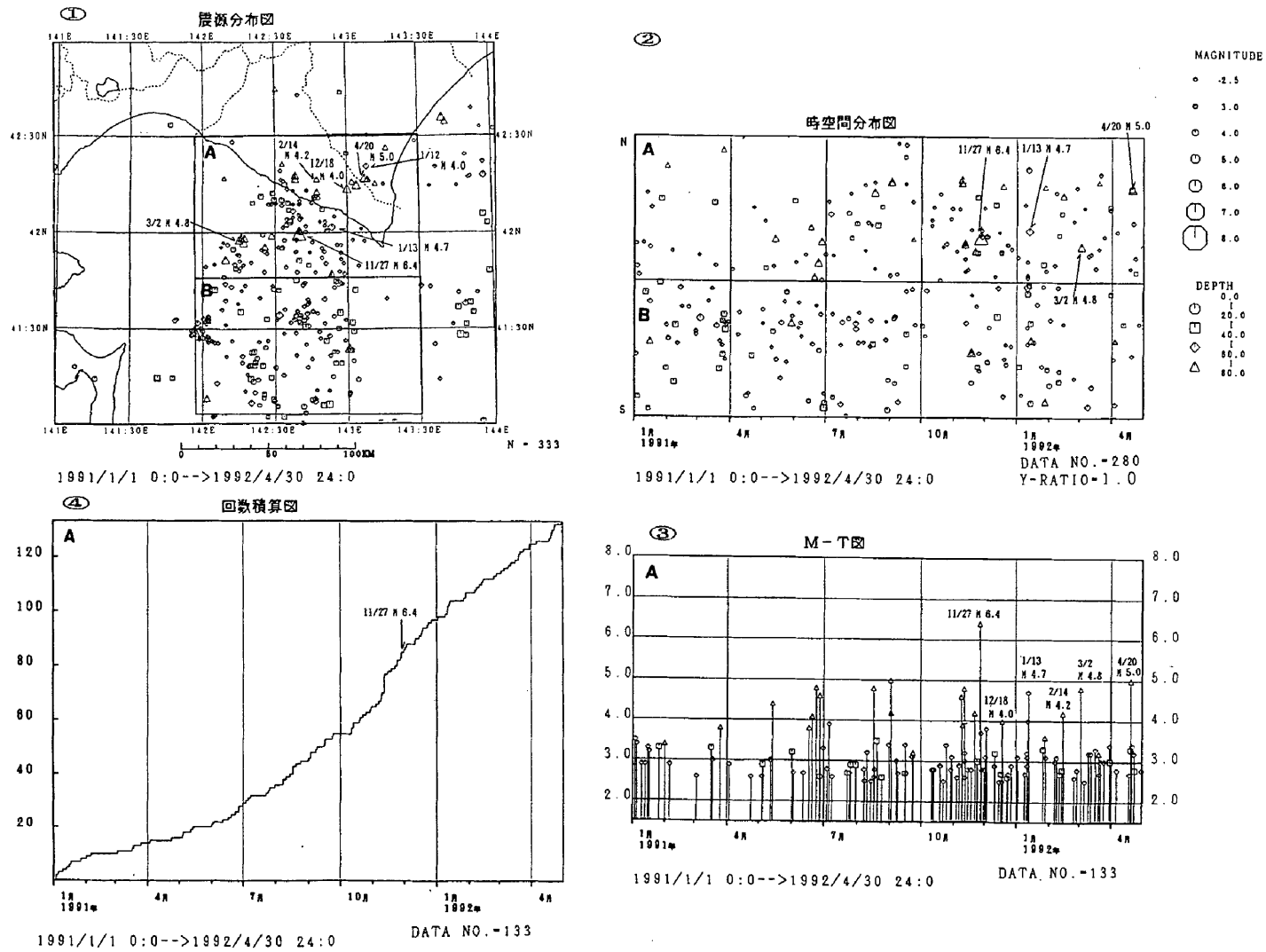
札幌管区气象台

Sapporo District Meteorological Observatory, JMA

浦河沖は北海道とその周辺では地震活動が最も活発な地域である。1961年から1991年10月までの地震活動については地震予知連絡会会報（第47巻）に詳しく述べられているので省略する。1982年3月の浦河沖地震（M7.1，最大震度：浦河Ⅵ）以降最大の地震は1991年11月27日にM6.4の地震が発生した。本震発生後の余震は極めて少なかった。その後浦河沖では通常地震活動が続いているように思われるが，1982年3月の浦河沖地震の活動域の東側の区域で最近M4～5クラスの地震活動が活発であるのに対し，浦河付近では1990年頃から地震活動が空白のようにも見られる。（第1図，第2図）

浦河沖を震源とする地震のエネルギー放出積算曲線を第3図に示す。このことについては地震予知連絡会会報（第47巻及び第48巻）で詳しく述べているので省略する。

注：1992年3月1日からの資料は暫定。

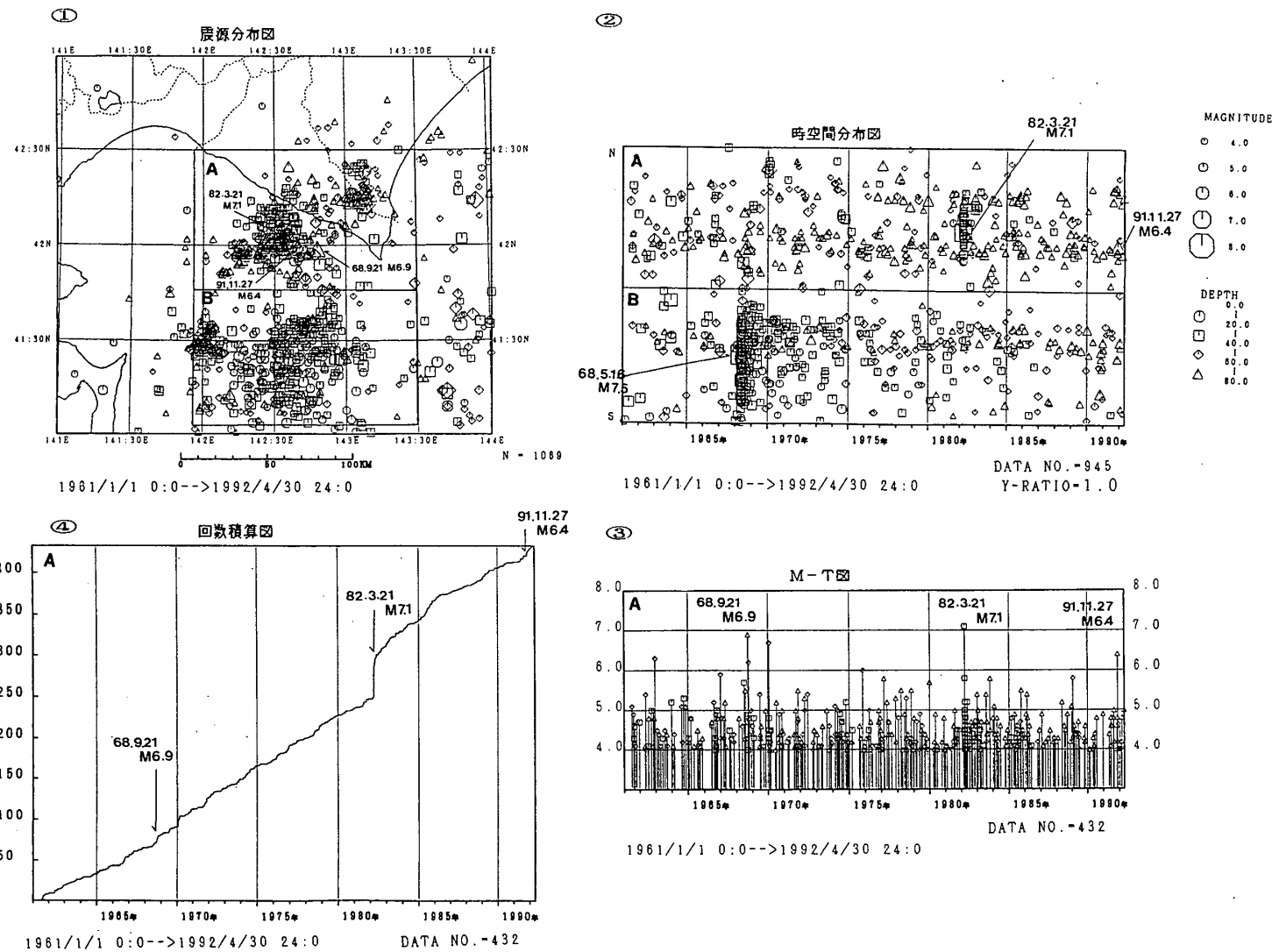


第1図 浦河沖の地震活動 (1991年1月~1992年4月, $M \geq 2.5$, $H \leq 80$ km)

①: 震央分布, ②: 時空間分布, ③: M-T図, ④: 回数積算図

Fig. 1 Seismic activity off Urakawa (January, 1991 – April, 1992, $M \geq 2.5$, $H \leq 80$ km).

①: Epicentral distribution, ②: Space-time plot, ③: M-T diagram, ④: Cumulative number of earthquakes.

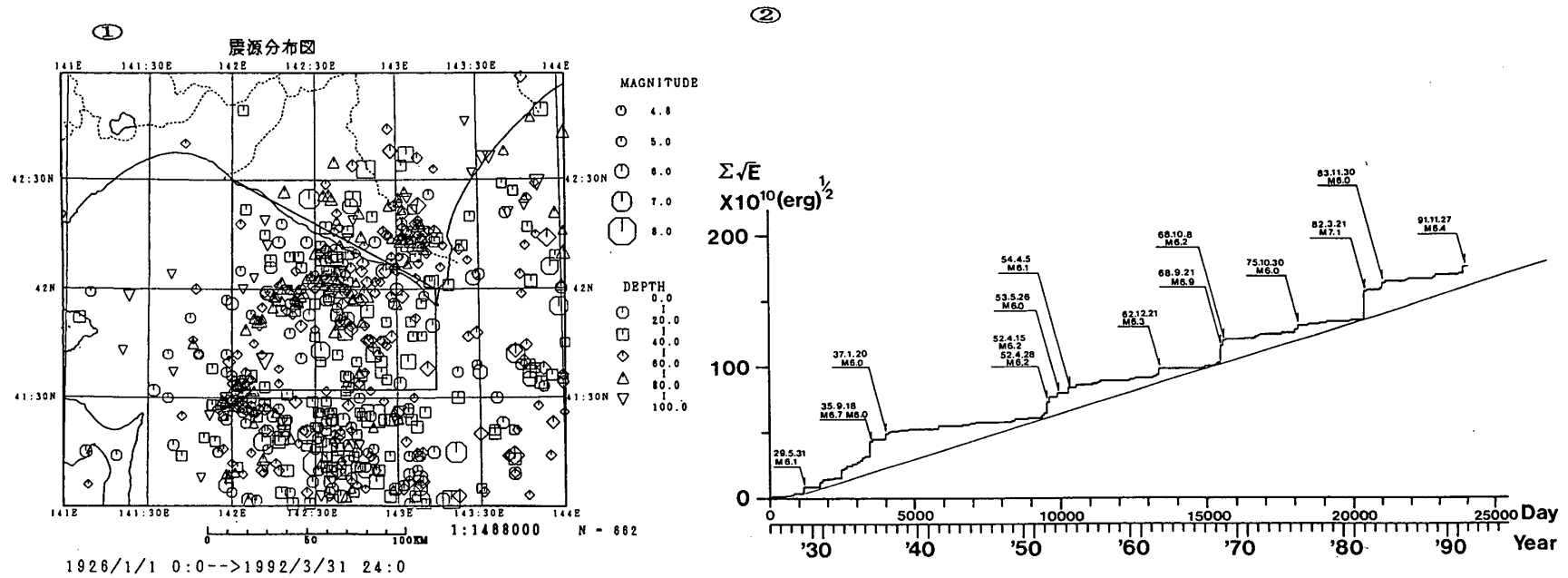


第2図 浦河沖の地震活動 (1961年1月~1992年4月, $M \geq 4.0$ $H \leq 80$ km)

①: 震央分布, ②: 時空間分布, ③: M-T図, ④: 回数積算図

Fig. 2 Seismic activity off Urakawa (January, 1961 – April, 1992, $M \geq 4.0$, $H \leq 80$ km).

①: Epicentral distribution, ②: Space-time plot, ③: M-T diagram, ④: Cumulative number of earthquakes.



第3図 浦河沖を震源とする地震のエネルギーの放出積算曲線
(1926年1月～1992年3月, $M \geq 4.8$ $H \leq 100\text{km}$)

①: 震央分布, ②: エネルギーの積算曲線 (Day軸の原点は1926年1月1日)

Fig. 3 Cumulative seismic energy released by earthquakes off Urakawa (January, 1926 – March, 1992, $M \geq 4.8$, $H \leq 100\text{ km}$).

①: Epicentral distribution, ②: Cumulative seismic energy (January 1, 1926 is the origin of abscissa).